



スマイルシード

発行日 2011年6月9日

No. 6

子どもたちにもっと地域で活動する場を！

この思いからスマイルシードの活動を始めて一年半あまりがたちました。具体的には、箕面市内にまだサービス提供事業者のない「児童デイ」が箕面に出来ることを目標のひとつにして、保護者間や行政・福祉関係事業者との意見交流、啓発事業に取り組んできました。その中で、当事者（家族）が声を上げ、それが行政や事業者が届くことの大切さ、この三者がつながることの大切さを実感しています。

保護者間の交流としては、1月に「放課後・長期休暇」をテーマに学習会を開催しましたが、参加者の生活上の様々な思いもあり二時間ではその核心部には至れませんでした。が、ファシリテーターの永田さんの言葉にあったとおり、私たち保護者が子どもたちと家族の生活の問題を共に考えていく種まきにはなったのではと思っています。

昨年12月に改正障害者自立支援法が成立したのに伴い、平成24年度から国の新たな制度「**放課後等デイサービス**」（所管は市町村）がスタートします。近年、支援の必要な子ども達に学校外の居場所が足りないと訴える声が高まってきていた結果と言えますが、この新たな制度で箕面では実際何がどう変わるのでしょうか？

答えは、「まだわからない」です。

箕面市内及び近隣の既存サービスである「放課後教室」（日中一時支援事業）と「児童デイ」（児童デイサービス事業Ⅱ型）は、どちらも定員が少なく地域のニーズを十分に満たせていませんでした。新たな制度の「放課後デイ」ですが、市内に新設が決ったものはまだないようです。平成24年度以降、既存の「放課後教室」や「児童デイ」がどうなるのかということも、新制度の中身が国から全く知らされていない今の段階では、はっきり見えていません。

一方で、地域の福祉関連事業者の中には、この「放課後デイ」について検討を始めるところも出てきました。そして、**子どもに家庭の外で活動させたい、或いは、仕事を続けたい**、などと願う私たち保護者にとって、この子どもたちの居場所サービスがどうなっていくのかは、大いに関心のあるところです。

ということで、スマイルシードでは、地域の事業者と協力し、「放課後デイ」を視野に入れたデイサービスへのニーズを明らかにするためのアンケートを実施することにしました。対象は箕面市内の公立小中学校支援教室在籍児童生徒の保護者と、箕面市から箕面・豊中支

援学校に通う児童生徒の保護者です。

地域のニーズを掘り起こし、事業者と行政にその情報を伝えることで、是非この箕面に「放課後デイ」を実現させたいと願っています。また、早くから当事者家族の声を届けることで、将来的に利用者と提供者双方にとってよりよいサービスの実現につながるのではと考えています。さらに、多くの小学生の保護者のみなさんにとっては、「少し先の課題」のテーマに目を向けていただく機会になるのではとも思っています。

アンケートは現在複数事業者と協議しながら作成中で、7月にはみなさんにお届けする予定です（H23年度みのお市民活動支援金申請中）。

このアンケートは、「放課後デイ」が直ちに開設されることを約束するものではありませんが、一人でも多くの声を事業者と行政に届けることが、箕面の子どもたちの環境を改善していくことにつながると確信しています。

どうか、アンケートへのみなさんのご協力をよろしくお願いします。



～ スマイルシードのあゆみ ～

今年度も、できる限り
水をやって
育てていきます！

